

一般質問

市役所では職員の世代交代が急速に進み、実務経験が短くても昇格の必要な時代を迎える。「あつてはいけないうミ」を市役所から一掃し、職員が若くても将来に明るい展望を持てるビジョンが必要である。今こそ市役所風土を刷新させるべく「タスクフォース」の立ち上げを提案した。市は、このタスクフォース立ち上げに前向きな姿勢を示した。

また、西いぶり消防広域化について市長は、登別市、室蘭市、伊達市の各消防本部のバックボーンの違いによって、合意には長期間必要と答弁した。



タスクフォース設置を提案
石山 正志

平成24年第4回定例会の主な議案の賛否状況 (挙手採決議案のみ掲載)

議案	賛成議員	反対議員	結果
平成23年度登別市一般会計歳入歳出決算の認定について	石山、上村、木村(俊)、木村(純)	佐々木 渡辺	可決
平成23年度登別市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	工藤、佐藤、杉尾、天神、成田、二瓶、沼田、松山、村井、山田		可決
平成23年度登別市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	米田		可決



第50回登別地獄まつりの開催について
工藤 俱二雄

登別温泉のイベントには、湯まつり・鬼火・地獄まつりと市民なしでは開催できないほど、多くの人的支援をいただいている。平成25年に第50回を迎える登別地獄まつりの開催に向けて、市民とともに感動を得られる全市民的なイベントとするために、どう取り組むのか。

50回の節目となることから、まつりに賛同される多くの市民・団体などの参画をいただきながら、市民一人一人がおもてなしの心で登別の魅力を内外に伝えていただくよう、また次の世代への継承のステージとなるよう成功させたい。



子ども・子育て3法について
木村 純一

子ども・子育て3法について

①「登別版子ども・子育て会議」の設置と関係条例の制定、改正などの今後の考えは。

②少子化については緩やかなる災害と言われるように、気がついたら子どもがいけないという状況が危惧されているが、本市の10年後、20年後の人口動態、乳幼児数、地域分布など将来の推移を把握しているか。

などに関し、市の今後の取り組みについて見解を求めた。



大規模停電における吹鳴装置等の活用について
山口 賢治

昭和38年に策定し、その後改訂されている「地域防災計画」は、有事の際の北海道電力の対応や、市と町内会による市民への広報などの義務的役割を定めている。そこで、今回起きた大規模停電時における市や各種団体の対応と、今後の取り組みについて質問した。これに対し、市民への広報や避難所設置を含め、初動体制の遅れがあった。今後、サイレン吹鳴装置の活用や、町内会が指定管理者となっている老人憩の家などの各種施設を優先活用することを含め、停電時のマニュアルを策定するという答弁があった。



鉄塔倒壊の原因究明を厳しくすべき!!
渡辺 勉

「大規模停電の原因について北海道電力はどのように考えているのか」の問いに、「暴風雪による電線や鉄塔への着雪と風の影響など類のない過酷な気象条件によるもの」と答弁。

当日の気象条件は、鉄塔設置の安全基準内であり、自然災害ではない。鉄塔の安全点検を目視で行うことは、本来の点検とはならない。地域住民が納得し、安心できる方法で安全点検をすべきであると、被害を受けた自治体として北海道電力に強く申し入れるべきと要望した。



エネルギーの確保は重要である
二瓶 秀幸

①今回の大規模停電を経験した中で、市役所庁舎のバックアップ電源の必要性をただし、非常用電源の確保を図るとの答弁があった。また将来的に停電回避と安定したベース電源となる地熱発電の検討を要望した。

②東日本大震災の復旧・復興支援で岩手県大槌町に派遣されている市職員の勤務環境についてただし、勤務や生活環境などあまり負担になっていないことを確認した。また平成25年度も派遣を検討するとの答弁があった。

③市内で交通死亡事故が続いていることから、再発防止対策についてただし



*タスクフォース：具体的な特定の課題を達成するため、一時的に編成される組織